



# 下呂市農業委員会だより

平成30年3月1日発行

vol. 12

下呂市農業委員会

下呂市萩原町羽根 2605 番地1 TEL.0576-53-2010

<http://www.city.gero.lg.jp/> ⇔ 行政情報 ⇔ 市政の情報

## 滋賀県甲賀市「(農) 酒人ふあ～む」視察研修、農業委員・農地利用最適化推進委員大会参加報告



### 【視察研修を終えて】

農業委員 高木康則

1月25日、農業委員会16名参加のもと、滋賀県甲賀市の農事組合法人「酒人ふあ～む」の視察研修と、翌日26日の岐阜県農業委員、農地利用最適化推進委員大会に出席しました。

25日は、酒人地区公民館にて「(農) 酒人ふあ～む」の伴副組合長より、平成11年組合の設立から現在までの取り組み、現状と課題などについて説明を受け、その後意見交換を行いました。

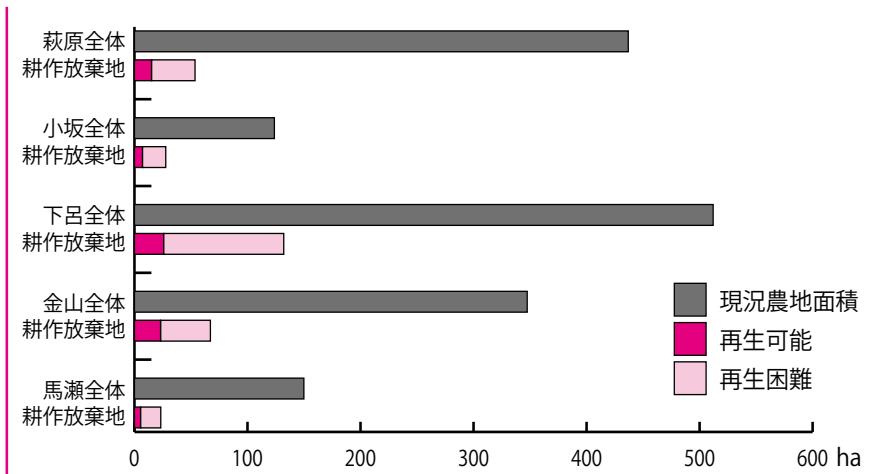
「(農) 酒人ふあ～む」の集落は69戸、専業農家1戸、兼業農家68戸とほぼ全戸が第二種兼業農家であり、担い手がない、機械が更新できない、水が来ないなど集落崩壊の危機をきっかけに取り組み、個々の農家で農業を支えるのは難しくても農地を合体、力を合わせれば何とかなるとの考え方から、農地の集積、機械の共同購入、若者から高齢者まで適材適所で働くことの出来る形態を作りあげ、45歳を管理。50%を水稻、他に小麦・大豆・野菜を生産。取組みとして①水稻・小麦・大豆の基幹作業は、集落若手が土日祝日で効率的に作業②水管理は高齢者③ハウス野菜は女性で担当④組織運営では定年制の導入など説明され、最後に、目指す社会は「集落は集落民でつくる」「後世に繋ぐもの、金でもない道でもない：磐石の営農組織」と取組みについて結ばれました。

事例では、松江市全農家2284戸を16地区に分け訪問聴取、特に75歳以上、かつ50人以上の耕作者重点で意向聴取など、農地利用最適化の意向等の情報収集・整理し、農地利用最適化活動を推進展開中との発表を受けました。2日間、これらの集落の在り方、課題など深く考える良い視察・研修でした。

## 農地利用状況調査の結果をおしらせします

平成29年8月～11月に実施した農地の利用状況調査（農地パトロール）について、下呂市全体の耕作放棄地は304haで、そのうち76.5haが再生可能な農地（1号遊休農地）、227.4haが山林・原野化などにより再生困難な農地でした。（左表・グラフ参照）これらの農地について、農業委員会

平成29年度 調査結果	農地全体 (現況) ha	耕作放棄地 ha	耕作放棄地 割合	
			再生可能	再生困難
萩原	436.9	53.6	15.1	38.5
小坂	123.8	27.7	7.1	20.6
下呂	512.0	132.1	25.8	106.3
金山	347.5	67.2	23.1	44.1
馬瀬	149.9	23.3	5.4	17.9
下呂市全体	1570.1	303.9	76.5	227.4



では1号遊休農地所有者の方に意向調査を行い、自己・貸出による耕作再開につながるように活動していきます。耕作放棄地の解消は、一朝一夕にはいかないのが現状です。再生不可能な状態にさせないために草刈り等適正な農地管理をしていただきますよう、みなさまご協力ください。

## 現在までの利用意向調査集計値 (H30.1.31 現在)

選択項目	回答人数	回答別割合	備考
①中間管理事業の利用	129	37%	税金が上がりません。今後、この調査を行いません。
②農地所有者代理事業の利用	13		
③自ら相手を探す	4		
④自ら耕作する	19	60%	H30調査で解消されていない場合、固定資産税が上がる可能性があります。 ※参照
⑤自ら保全管理する	208		
⑥その他	10	3%	
回答済人数(対象者768人中)	383		

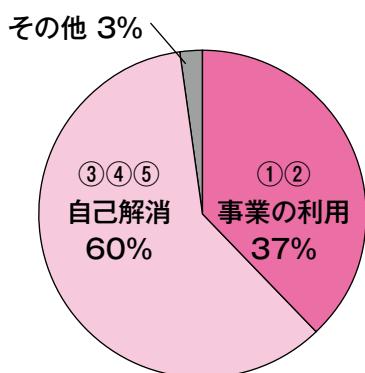
農地法32条に基づく今年度の意向調査は対象者が768名となり、現在集計中です。（左表、グラフ参照）調査は筆ごとの選択方式で左表①～⑥より選択していただきます。

①または②を選択した場合は遊休農地解消意思の表明として、今後本調査対象外となります。ただし、借受希望者のない場合はご希望に添えませんのでご了承ください。

③～④を選択された場合は平成30年度の農地パトロールで解消確認をいたします。再度、遊休農地と判定した場合は来年度も意向調査の対象となりますのでご了承ください。

まだ回答が済んでいない方はお早めにお願いします。なお、既に回答済みの方の回答の撤回、訂正はいつでも行えますので農業委員会事務局までご連絡ください。

※遊休農地の課税強化について  
中間管理機構が借り受ける農地である（借受希望者がある）にもかかわらず、貸し付けの意思がなく、管理も行われない遊休農地は勧告の対象となり固定資産税の評価額が1.8倍となります。（H28 税制改正）



## 遊休農地利用意向調査について

## 下呂市功労者表彰

馬瀬中切の前農業委員、二村明さんが下呂市功労者表彰を受賞されました。

二村さんは平成11年、馬瀬中切の清流ふれあい会館建設工事の折、用地と農地の調整役にと地元に推薦され当選。以後17年9か月の長きにわたり、馬瀬村および下呂市の農業委員を務められました。

農業委員の活動以外においても、昨年のひだ米コンにおいて入賞した「馬瀬ひかり」の生産組合、中山間地域等直接支払制度を担う馬瀬里づくり委員会、(農)馬瀬米農組合の設立等、馬瀬地域の農業振興の牽引役となられました。特に(一社)馬瀬アグリの設立の際には、農業委員として、関係者各位とともに組織の体制作りに尽力。改正農業委員会法で新たに必須業務となつた「農地利用の最適化の推進」を先駆けて実行してこられた委員です。こうした功績が認められ、今回の功労者表彰を受賞されましたこと、誠におめでとうございます。先輩委員として、今後ともご指導よろしくお願いします。

(二村昭司委員取材)



〈二村明さんよりひとこと〉

お陰様で私は今年一月で古稀を迎える事となりました。地域の皆様のご理解・ご協力、また行政のご指導により、馬瀬地域および下呂市の農業振興に携われました事、心より感謝いたします。

## 「農家に恋2017」を開催しました



金森茂俊会長が「馬瀬に行った思い出を持ち帰ってほしい。カップルになった方々は未永くお付き合いを続けてください」と挨拶されイベントが終了しました。

## 楽 楽 楽 食

旬をいただく

常備野菜であつたかおかず

### じゃがいもグラタン

●材料 (4人分)

じゃがいも……………中4個

たまねぎ……………1／2個

ベーコン……………適宜

(ウインナー や 鶏肉でも)

小麦粉……………大さじ2

牛乳……………500cc

塩こしょう……………適宜

コンソメ……………1個

ピザ用チーズ……………適宜

①じゃがいも、たまねぎは5ミリ幅、ベーコンは好きな大きさに切る。じゃがいもは水にさらさないこと。

②フライパンに油を敷き、たまねぎ、ベーコンを炒め、途中小麦粉をまぶしながら炒める。

③②に牛乳、塩こしょう、コンソメ、じゃがいもを入れふたをしないで柔らかくなるまで煮る。

④耐熱皿に盛り、ピザ用チーズをかけ、オーブンかトースターでチーズに焼き目がつくまで焼く。



少ない材料で作れます。

じゃがいもに含まれるデンプンでとろみがつき、簡単でおすすめです。

## 農業者年金個別説明会を行いました

2月1日下呂総合庁舎にて農業者年金制度の個別説明会を行いました。岐阜県農業会議の専門員より詳細に説明をうけた参加者は「積立方式で安心で節税効果も魅力。ぜひ加入を検討したい」と話していました。



今回は新規就農者をはじめ9名の農業者に説明を行いました。

**制度の説明は随時承ります。  
事務局までご連絡ください。**

農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか?  
少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。

- ① 年間60日以上の農業従事
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 60歳未満

以上を満たせばどなたでも加入できます。  
農地権利等の条件はありません!

### 平成30年度 農業委員会総会日程・申請日締切日

年/回	申請締切	総会	年/回	申請締切	総会
平成30年第4回	3月20日(火)	4月5日(木)	平成30年第10回	9月20日(木)	10月3日(水)
平成30年第5回	4月20日(金)	5月2日(水)	平成30年第11回	10月19日(金)	11月2日(金)
平成30年第6回	5月18日(金)	6月4日(月)	平成30年第12回	11月20日(火)	12月3日(月)
平成30年第7回	6月20日(水)	7月4日(水)	平成31年第1回	12月20日(木)	1月7日(月)
平成30年第8回	7月20日(金)	8月2日(木)	平成31年第2回	1月18日(金)	2月1日(金)
平成30年第9回	8月20日(月)	9月3日(月)	平成31年第3回	2月20日(水)	3月1日(金)

**農振除外申請は  
5月31日まで**

農業振興地域(農振)の農用地区域になっている農地を農地以外の目的に転用する場合は、農振除外の手続きが必要です。詳しくは広報げろ4月号で掲載します。

下呂市農務課  
TEL: 0576-53-2010

### <編集後記>

#### 『井の中の蛙の子』

農地利用最適化推進委員になって一年余り。法・制度に沿った農地パトロールの実施、農家の話の中で色々な意見が飛び交う扱い手の問題、山間狭小農地での集積・集約、鳥獣被害など時間が足らない。

新聞・雑誌によれば、食料の地元産比率を調べたところ5~10%程度。金額ベースで大半のところは9割以上も地元産以外のものを食べて暮らし、北海道でも東京でも岐阜でもあまり違いのない食事をしているとか。また食料品店の廃棄は29%だとか。

はじめの言葉は、亡き恩師の言われた言葉です。編集後記に似合わぬ私見て大海を知らず、蛙の子のまんまかー。

(大森 公治)

#### ●編集委員

- ・二村 昭司
- ・今井 慎太郎
- ・高木 康則
- ・林 忠和
- ・大森 公治



農家の経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。  
農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です!

**農業者の視点でお届けします**

週刊(金曜日発行) 月 700円

お申込みは農業委員会まで